

川口市民オンブズマン・ニュース

11号/2013年10月11日発行/発行：川口市民オンブズマン(代表 村松)
問合せ先：〒333-0821 川口市東内野56-33 電話&Fax：048-295-0580
<http://k-c-ombudsman.sakura.ne.jp/> kawaguchi.citizen.ombudsman@tcat.ne.jp

市議会の海外視察は必要なのか!? ご意見をお聞かせください!!

～総額・約957万円の海外視察(H24年度)から考える～

川口市議会は、平成24年7月25日(水)～8月3日(金)の10日間で、7名の議員(視察団の団長・板橋智之議長(当時)、副団長・大関修克、野口宏明、最上則彦、宇田川好秀、立石泰広、関口京子議員)によるフロリアード2012視察団として海外視察を行いました。

これは川口市議会海外視察実施要綱に則り、議会の議決をもって行われましたが、随行する議会事務局長の1名を含み、この海外視察には合計約957万円の費用がかかりました。

今回、川口市議会の海外視察に関して、幅広い市民のみなさんのご意見をお伺いするためのアンケートを行っています。

次ページ以降に2012年に実施された川口市議会の海外視察に関する調査結果等を掲載しましたので、ご参照頂きアンケートのご協力をお願いします。

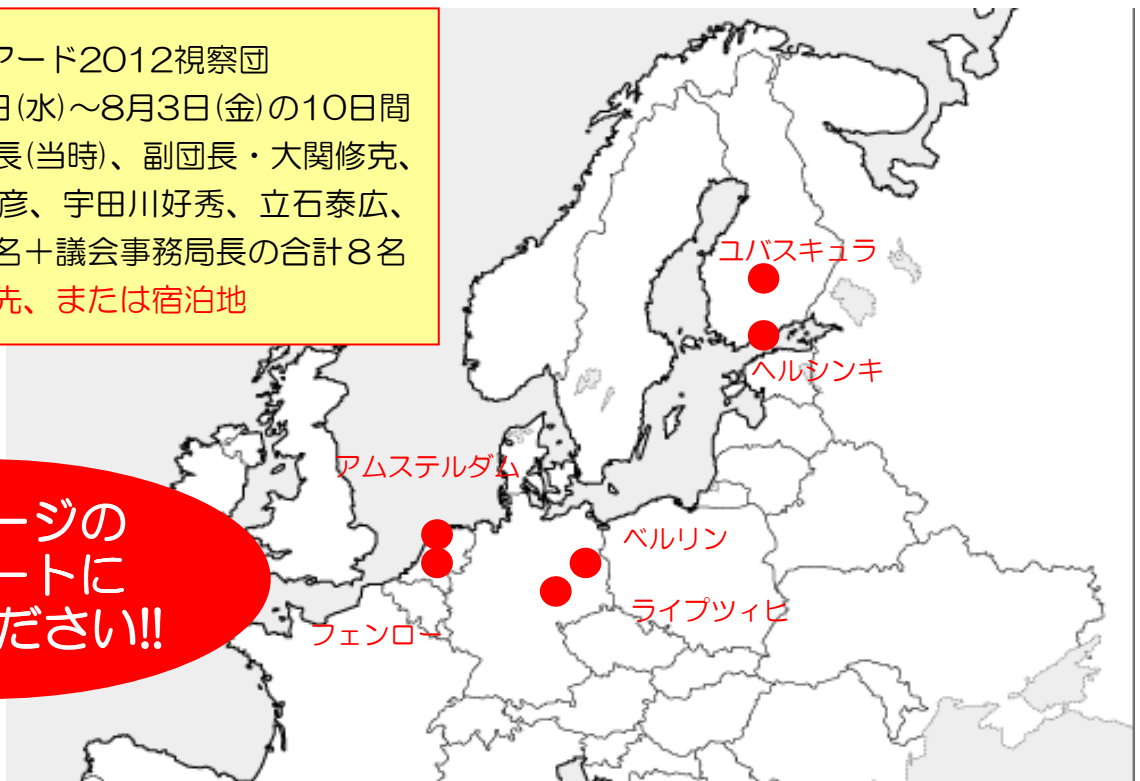
●フロリアード2012

正式名を「2012年フェンロー国際園芸博覧会」と称し、オランダ園芸協会等が実施主体となり、10年に1度開催される大国際園芸博覧会。川口市からは、市とフロリアード2012出展実行委員会の共催により、川口の花き・植木のPRを目的に参加。1982年に実行委員会により屋外に単独出展して以来、1992年と2002年には日本政府と共同出展し、2002年には屋外樹木コンテストにおいて、金・銀・銅の三賞を受賞しており、今回が4回目の出展。

フロリアード2012視察団

平成24年7月25日(水)～8月3日(金)の10日間
団長・板橋智之議長(当時)、副団長・大関修克、
野口宏明、最上則彦、宇田川好秀、立石泰広、
関口京子議員の7名+議会事務局長の合計8名

●は視察団の視察先、または宿泊地



最終ページの
アンケートに
ご協力ください!!

■ 川口市議会の過去の海外視察

市議会の会議録検索システムで調査したところ、直近の10年程度で以下の海外視察が行われています(海外視察で検索できた結果)。

H13年度 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国市議会議長会欧州都市行政視察団(3名) ・ 全国市議会議長会豪州・ニュージーランド都市行政調査団(1名)
H14年度 (3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川口市議会フロリアード2002視察団(6名) ・ 全国市議会議長会欧州都市行政視察団(4名) ・ 全国市議会議長会豪州・ニュージーランド都市行政調査団(2名)
H16年度 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国市議会議長会米国・カナダ都市行政調査団(2名) ・ 全国市議会議長会代表中国友好訪問団(1名)
H17年度 (1件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国市議会議長会代表中国友好訪問団(2名)
H18年度 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国市議会議長会欧州都市行政調査団(1名) ・ 全国市議会議長会代表中国友好訪問団(1名)
H24年度 (1件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川口市議会フロリアード2012視察団(7名)

■ 問題となった県議会の海外視察

2003年12月、日本テレビが、県議会の海外視察で議員6人が、タイのナイトクラブに入り、ひな壇に並んだ多くの女性からそれぞれ一人を選んで別室へ消えて行くなどの様子を報道し、全国的に海外視察が問題となりました(JanJanニュースより一部転載・加筆)。

■ 凍結されていた市議会の海外視察

上記のような世間の状況や市議会の各会派代表者による検討(下表)もあり、川口市議会では近年、海外視察を凍結していました。

H12年度	各会派代表による海外視察のあり方についての検討委員会が5回開催され、その議
-------	---------------------------------------

	論等をもとにH13年4月に川口市議会海外視察要綱が作成。⇒任期中1回、任期2期以上の議員が対象となる
H18年度	議会改革小委員会で、政務調査費による海外視察の是非が議論される。
H19年度 市議会改選期	各会派代表連絡者会議で検討され、当分の間、海外視察は凍結として、海外視察の予算を計上しないことになる。

※ 総務常任委員会の議事録、議会改革小委員会の議事録より判明

■ 議会事務局が視察再開をアドバイス!?

平成21年3月18日の総務常任委員会で当時の議会事務局次長が、海外視察に関して以下のように発言しました。

10年に一度のオランダのフロリアード、これは川口の安行の植木が出品をいたしました、前回は金、銀、銅の3賞を受賞したと、そういうような地場産業のPR、そういったあれもごきまさい場合には、やはり市議団で団体を組んで、そういうところでどういうものかという、そういう視察はあろうかと考えております。※原文をそのまま転載

このような議会事務局の発言や認識が、今回の海外視察へつながった可能性があります。

■ 今回の海外視察の経緯・目的

川口市議会・フロリアード2012視察団の視察報告書には、次の記載があります。

過去、昭和57年度、平成4年度及び平成14年度の3回、国際園芸博覧会を視察いたしました経緯があります。今回においても本市とフロリアード2012出展実行委員会の連名で市議会議長あて強い視察の要請があつたことから、本市議会として「この出展事業に対する認識を深め、今後の植木をはじめとする本市の緑化産業の振興の支援に資するとともに、併せて近隣訪問国の地方自治制度及び各都市の先進的な事業の調査を行うことにより、本市市政の発展に寄与すること」を目的とし、視察団を編成することとなりました。

■ 海外視察に向けての準備

視察報告書によると、視察に向けて平成24年6月28日、7月13日の2回の打合せ会を実施し、今回の各視察事業のテーマを明確にするとともに、事業の詳細や本市における現状等を把握し、視察を実りあるものにするため、関係執行部等による各事業の説明が実施されたと記載されています。

■ 海外視察の費用・総額で約957万円

情報公開請求で入手した資料によると、川口市議会の視察団(フロリアード2012視察団)は、議員7名+議会事務局長の合計8名で視察を行い、ひとり当たり1,131,540円、総額で9,577,120円の費用となったことが判明しました。

海外視察先・日程等が異なるため、一概に比較はできませんが、埼玉県議会・さいたま市議会の海外視察団の費用が、ひとり当たり139,620円(韓国)~706,460円(アメリカ)であり、川口市議会の海外視察費用が高額であることが判明しています。

■ キャンセル料・約52万円はムダ使い!?

今回の海外視察の経費には、二つの理由からキャンセル料が発生していることが、判明

しました(詳細はキャンセル料の内訳参照)。

一方、市の職員として、フロリアード2012に海外出張している職員や「ジャパンデー」の公式式典等へ参加した橋本副市長、経済部長、農政課の課長補佐については、議会の視察団のような理由でキャンセル料が発生していませんでした。

このようなことから、行政側と比較して議会側が、キャンセル料を発生させないように適切な事前準備や調整をしていたのか、疑問が残ります。

キャンセル料の内訳

①派遣議員が9名から7名に変更したことにより生じた旅行代金の取消料	182,400円×2=364,800円
②「ジャパンデー」の日程及び公式式典等の詳細が決定したことにより、行程の一部に変更が生じたための宿泊代金等の取消料	20,000円×8=160,000円
合計	524,800円

■ 旅行代金・内訳(JTB作成)

下表の内訳に、ひとり当たり、日当36,600円(10日分)+支度料43,120円=79,720円が加算されます。

内訳書

項目	概要	単価	人数	合計
航空代金	成田ーヘルシンキ間：ビジネスクラス利用 ヨーロッパ圏内利用：エコノミークラス利用	619,000	8	4,952,000
宿泊費	宿泊代 1泊朝食付き 8泊分	112,000	8	896,000
列車代	ヘルシンキ⇄ユバスキュラ間 往復	16,000	8	128,000
食事代	昼食：8回分 夕食：7回分	46,100	8	368,800
専用車	バス代・バス諸経費	92,500	8	740,000
添乗員費用		77,500	8	620,000
諸経費	現地視察手配料	27,750	8	222,000
諸経費	渡航手続代行費用	3,150	8	25,200
企画料		1,000	8	8,000
ご旅行代金		995,000	8	7,960,000
その他	燃油サーチャージ・空港税等	56,820	8	454,560
総代金		¥1,051,820	8	8,414,560

取消料内訳書

項目	概要	単価	数	合計
取消料	契約時、ご旅行代金(¥912,000)の20%取消料	182,400	2	364,800
特約取消料	行程変更に伴う、HOTEL VENLO 1泊分取消し 宿泊代100%	20,000	8	160,000
総代金				524,800

■ 海外視察の日程表(視察団の視察報告書から抜粋)

別 紙

視 察 の 日 程 及 び 経 路

	月日(曜)	地 名	現地時間	交通機関	行 程	備考
1	7月25日 (水)	東 京(成 田)発 ヘルシンキ着	8:00 11:00 15:15	A Y 7 4 専 用 車	成田空港第2旅客ターミナル集合 空路、ヘルシンキへ 所要時間:10時間15分 着後ホテルへ ＜ヘルシンキ泊＞	
2	7月26日 (木)	ヘルシンキ ユバスキュラ	9:06	列 車 専 用 車	ユバスキュラへ 所要時間:約3時間 ユバスキュラ市内視察 ＜ユバスキュラ泊＞	
3	7月27日 (金)	ユバスキュラ	終 日		エドゥ・クラスター社訪問 ＜ユバスキュラ泊＞	
4	7月28日 (土)	ユバスキュラ ヘルシンキ発 ベルリン着	7:19 17:00 17:55	列 車 A Y 9 1 7	ヘルシンキへ 所要時間約3時間 空路、ベルリンへ 所要時間:1時間55分 ＜ベルリン泊＞	
5	7月29日 (日)	ベルリン ライプツィヒ	午 前 夕 刻	専 用 車	ベルリン市内視察 ライプツィヒへ (所要時間 約3時間) ＜ライプツィヒ泊＞	
6	7月30日 (月)	ライプツィヒ ボルナ ベルリン	午 前	専 用 車	ボルナへ 所要時間:45分) メガソーラーパーク視察 ベルリンへ (所要時間 約3時間) ＜ベルリン泊＞	
7	7月31日 (火)	ベルリン発 アムステルダム着 アムステルダム フェンロー	9:15 10:35 午 後	KL1822 専 用 車 専 用 車	空路、アムステルダムへ 所要時間:1時間20分 ウォーターネット社訪問 視察後、フェンローへ (所要時間 約2時間) ＜フェンロー泊＞	
8	8月1日 (水)	フェンロー アムステルダム	終 日	専 用 車	フロリアード視察 ＜アムステルダム泊＞	
9	8月2日 (木)	アムステルダム発 ヘルシンキ着 ヘルシンキ発	11:50 15:15 17:15	専 用 車 A Y 8 4 2 A Y 0 7 3	空港へ 空路、ヘルシンキへ 所要時間:3時間20分 乗継、帰国の途へ 所要時間:9時間40分 ＜機中泊＞	
10	8月3日 (金)	東 京(成 田)着	8:55			

■ 現地視察の行程(視察報告書より視察団の行程のみを抜粋)

《1日目 7月25日(水)》

成田空港からフィンランド航空で午前11時に出発し、空路約10時間を要して、一路ヘルシンキへ、現地時間午後3時過ぎ、日本時間で午後9時に到着。日本時間との時差は6時間(ヘルシンキ泊)

《2日目 7月26日(木)》

ホテルを午前8時15分に出発、列車にて、一面の森と湖の中を約3時間半の時間を要し、フィンランドの中南部に位置する人口約13万人の学園都市ユバスキュラ市に到着。午後から、20世紀を代表する世界的な建築家であり、デザイナーでもあるアルヴァ・アアルトによる建築物「セイナツァアの役場」、「ユバスキュラ大学」等を視察。(ユバスキュラ泊)

《3日目 7月27日(金)》

午前8時30分にホテルを出発し、徒歩で、エドゥ・クラスター社を訪問。「フィンランド教育制度」について、ユバスキュラ大学の教員養成機関であり、教育研究機関でもあるエドゥ・クラスター社のマネージャーのヴオリ氏から説明を受けました。午前9時前から、昼食をはさみ、午後4時30分までのレクチャーを受け、若干の疲れがあったものの充実した内容でありました。(ユバスキュラ泊)

《4日目 7月28日(土)》

午前6時45分にホテルを出発。列車にてヘルシンキへ移動。到着後、市内の歴史的建造物とデザイン性の高い近代建築が共存する様子を視察した後、空路ベルリンへ向かい、午後6時過ぎに到着。(ベルリン泊)

《5日目 7月29日(日)》

午前中、1850年代に建設された新博物館を視察し、その後、東西分断の象徴、ブランデンブルグ門を視察後、バスにて、アウトバーンを走り、約3時間を要してライプツィヒへ到着。(ライプツィヒ泊)

《6日目 7月30日(月)》

午前9時にホテルを出発。ヨーロッパにおけるメガソーラーパークのパイオニアであり、発電施設の開発、運営にノウハウを持つゲオソル社のボルナ発電所を訪問。視察終了後、ベルリンへ戻る。(ベルリン泊)

《7日目 7月31日(火)》

午前7時15分、ホテルを出発。空路にて約1時間30分を要し、人口約76万人のオランダ最大の都市アムステルダムに到着。午後から2時間「オランダ治水事業」について、ウォーターネット社を訪問し、ウォーターネット社の社長フンベルト氏及び担当者から説明を受けました。視察終了後、約3時間を要し、ドイツとの国境の町であり、2012年国際園芸博覧会が開催されているフェンロー市に移動、夕刻に到着。(フェンロー泊)

《8日目 8月1日(水)》

午前9時にホテルを出発。今回の視察のメインテーマでもある「2012年フェンロー国際園芸博覧会」の会場に到着。視察終了後、バスにて約3時間を要し、アムステルダムへ移動。(アムステルダム泊)

《9日目 8月2日(木)》

ホテルを午前9時に出発。午前11時50分にアムステルダム空港を発ち、午後3時15分にヘルシンキ到着。午後5時15分にヘルシンキを発ち、空路、帰国の途へ。(機中泊)

《10日目 8月3日(金)》

所要時間約9時間を要して、日本時間で午前9時、成田国際空港に到着。一行に多少の疲労感はあるものの、なんのトラブルもなく全員元気に帰国いたしました。

■ 市議会本会議での報告と一般質問

今回の海外視察後、平成24年9月の市議会本会議で、視察団を代表して野口宏明議員から海外視察報告が行われました(※報告内容は、視察報告書に明記された内容)。

また、同じく市議会本会議で、海外視察に参加した関口京子、立石泰広議員の2名が海外視察に関連する質問として、本市とフィンランドとの教育研究事業、再生可能エネルギー、緑化産業の振興などについて一般質問を行いました。

■ 海外視察は市政に活かされるのか!?

今回の海外視察の出張命令書には、視察団の派遣目的として『フェンロー国際園芸博覧会(フロリアード2012)の視察及び近隣訪問国の教育施策等の調査』として、その視察目的を達成するための視察都市及び調査事項が4つあり、その視察内容のポイントと当会の意見は下表のとおりになります。

なお、視察報告書、市議会本会における視察の結論等として明確な文言は、「今後の本市のさらなる発展に資するものでありました。…中略…大変有意義な視察であり、今後の本市政の中で大いに参考とし、市政の推進に役立てて参りたいと存じます。」となっていました。

視察内容のポイント	当会の意見
視察都市及び調査事項① 「フィンランド・ユバスキュラ市におけるフィンランド教育制度の調査」(エドゥ・クラスター社訪問)	
フィンランド教育における成功のかぎとされる6つのポイント(「平等で皆のための教育」・「教員の高い質と専門化」・「一人一人の個性のあり方を見ていく指導」・「ユニークなカウンセリングのコーナー」・「評価システムの違い」・「柔軟さと信頼性が重要なポイント」)で視察。「教育事業の充実を図ることで次世代を担う若者を育成することの重要性を痛感させられるもの」との結論。	国内でもフィンランド教育に関するセミナー・書籍も多数あり、視察は一般的なフィンランド教育の把握程度。この費用で国内の研究家による全議員向け勉強会を開催した方が有効。
視察都市及び調査事項② 「ドイツ・ボルナ市における環境推進事業の調査」(メガソーラーパーク視察)	
世界的な環境保護先進国ドイツのメガソーラーの施設を視察。売電料が低下しており、利益を得るのは難しくなっており、今後の方向としては、工場、あるいは自宅の屋根に太陽光パネルを設置し、自分の電気は、自分が賄う、自給自足にシフトしつつある現状を知る。「環境推進事業をより一層進めることで持続可能な社会を構築することの重要性を痛感させられるもの」との結論。	売電価格の低下による、メガソーラーの運営上の課題については、国内でも既に報道され、自給自足へシフトしている現状を把握する程度では海外視察の意味がない。
視察都市及び調査事項③ 「オランダ・アムステルダム市における治水事業の調査」(ウォーターネット社訪問)	
飲料水の供給、下水・汚水処理、地下水の保全、水害対策を総合的に実施している治水・利水事業について、ウォーターネット社・社長(当時)及び担当者から説明を受ける。業務の効率化とサービス向上につながっていることを確認。視察報告書では、国土の4分の1が海拔0メートル以下にあるオランダの水害対策に特筆している。	本市とは異なり、国土の4分の1が海拔0メートル以下である特異な国土状況の水害対策が、海外視察までして市の水害対策の参考になるとは思えない。
視察都市及び調査事項④ 「オランダ・フェンロー市における国際園芸博覧会(フロリアード2012)の視察」	
出展は、本市の地場産業である花き・植木産業をはじめとする緑化産業の振興、PRを図るものであるとし、会場内の視察を通じて、「自然との共生」、自然と一体となることで生活の質、クオリティ・オブ・ライフの向上を図ることの大切さを痛感し、本市の花き・植木産業の振興、支援について、思いを巡らせた視察とされていた。	10年前にも視察しているが、地場産業である緑化産業の振興、PRのため、これまで議会として具体的な提案・改善ができていないのか疑問な状況で、改めて大挙して視察に行く理由が不明。

■ 埼玉県議会・さいたま市議会・海外視察の状況

当会が平成21～24年度までの3年間について、埼玉県議会・さいたま市議会の海外視察(政務調査費ではない)を調査したところ、下表のとおり埼玉県議会で2回、さいたま市議会で4回の海外視察が行われていました(県議会・さいたま市議会では政務調査費でも別途、海外視察が行われています)。

年度	参加人数	概要	視察費用の総額(円)	ひとり当たりの費用(円)
川口市議会				
24	8	フロリアード2012視察団(内容は省略) 平成24年7月25日(水)～8月3日(金)・10日間	9,577,120	1,131,540
埼玉県議会				
22	14	埼玉県「オハイオ州姉妹提携20周年」親善訪問団 平成22年9月8日(水)～15日(水)・8日間 ※知事とともにアメリカ合衆国オハイオ州を訪問	9,890,443	706,460
22	14	埼玉県議会ブランデンブルグ州友好親善訪問団 ドイツ連邦共和国ブランデンブルグ州 平成22年10月30日(土)～11月4日(本)・6日間	7,655,315	546,808
さいたま市議会				
22	5	アメリカ合衆国行政視察・姉妹都市15周年記念リ ッチモンド市友好訪問 平成22年5月16日～22日・7日間	3,369,535	673,907
23	7	中華人民共和国行政視察・友好都市30周年記念鄭 州市訪問団 平成23年11月15日～19日・5日間	2,023,700	289,100
23	1	ラオス人民民主共和国行政視察 海外派遣 平成23年12月24日～28日・5日間	220,690	220,690
24	7	大韓民国水原市行政視察訪問団 平成24年4月24日～26日・3日間	977,340	139,620

※ ひとり当たりの費用は、視察費用の総額を参加人数で除して少数点以下を切捨てています。

※ 川口市議会の参加人数には随行の職員1名が含まれています。

※ 県議会の参加人数には随行の職員4名が含まれており、政務調査費による一部の視察参加者は含まれていません。

※ さいたま市議会の参加人数には、随行の職員は含まれていません。

求む!!新規会員

川口市民オンブズマン

毎月第3土曜日13:00～かわぐち市民パートナーズ
ステーションで定例会を開催しています!!
まずはオブザーバー参加から始めてみませんか?!



川口市議会の海外視察に関するアンケート



各選択肢からもっとも適当な選択肢を1つ選んでいただき、選択肢に○印を付けてください。
また、自由記入欄等のご記入もお願いします。

Webアンケート
当会HPからリンク有

【性別】 男性 ・ 女性

【年齢】歳

【住所】 川口市内 ・ 川口市外

① 昨年、川口市議会の視察団(フロリアード2012視察団)が、ヨーロッパへ海外視察を行ったことを知っていましたか？

- ・ マスコミ報道で知った
- ・ 当会HPで知った
- ・ チラシで知った
- ・ 知らなかった
- ・ その他 ()

② 川口市議会の視察団(フロリアード2012視察団)は、議員7名+議会事務局長の合計8名で海外視察を行い、ひとり当たり1,131,540円、総額で約957万円の費用がかかりました。この海外視察の費用について、どのように思いますか？

- ・ 費用が高額だと思う
 - ・ 費用は適当だと思う
 - ・ わからない
 - ・ その他 ()
- (理由)

③ 川口市議会の海外視察の実施に賛成ですか、反対ですか？

- ・ 賛成
 - ・ 反対
 - ・ どちらでもない
- (理由)

④ 川口市議会の海外視察に関してご意見等をお願いします。

(自由記入欄)

【アンケート送付先】

Fax 048-295-0580 メール kawaguchi.citizen.ombudsman@tcat.ne.jp

郵送 〒333-0821 川口市東内野56-33 川口市民オンブズマン・代表 村松幹雄宛て